

開南管理學院 95 年度第 1 學期 應用日語 學系科目教學計劃表

科目代碼	科目名稱	授課教師	修別	開課年級	學分數	每週時數
	中文：日本語翻譯 (上)	杜念慈	■ 必修	3 年 B 班	2	2
	英文：Japanese Translation	先修課程				
教學目標	<p>教學目標は、日本語の「聞く・話す・読む・書く」の四技能と「訳」の技能を合わせ、五技能の総合的養成をめざすものである。「聞く・話す・読む・書く・訳」の五技能の養成は次のとおりである。日本語は、「読む」「聞く」「話す」「書く」、そして「訳」を習得させる順番でしっかり身につけてもらいたい。</p>					
與内容	<p>【受講生に対する希望】初回には必ず出席する者。自己認識をしたい者。遅刻入室及び途中退室は原則として認めない。講義への「参加」を重視する授業であることを忘れないこと。「参加」とは授業で質問や意見を提出することでコミットすることであって、その場にいたことではない。</p>					
實施方法	<p>講義形式が中心ですが、グループワーク、プレゼンテーション、討論といった形態も導入する。◆朗読法。◆討論法（ディスカッション）。◆読解法。◆演習法。</p>					
評量方式	<p>成績評価は、レポートの質と授業への参加状況で行う。出席自体は評価の対象とならないが、授業内容に関する質問・意見は授業に対する参加・貢献として評価に加えることがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 50% (平常点、ノートの提出、メールのやりとり等)</li> <li>◆ 25% (中間レポート)</li> <li>◆ 25% (期末試験)</li> </ul>					

<p>【使用テキスト等】</p> <p>1、『文法超簡単 I』大新書局。</p> <p>2、<a href="http://www.asahi.com/paper/column.html">http://www.asahi.com/paper/column.html</a> : 朝日の天声人語。</p> <p>3、<a href="http://www.nhk.or.jp/kdns/">http://www.nhk.or.jp/kdns/</a> : 週刊こどもニュース。</p>	
授課使用	<参考テキスト>
及	i、『中国語ジャーナル』株式会社アルク。
参考書籍	ii、『月刊日本語』株式会社アルク。
	iii、中国語・日本語版『光華』光華画報雑誌社（当年分）。（解説文：中国語を日本語に翻訳する作業にかかわる学習者が知っておかなければならない日本語と中国語の表現の違い等の文章を載せた学びやすい雑誌。日本語を中国語に翻訳するためにも役立つ。）
科目簡介(可含大綱及教學進度)：	
第 1 週 (TBS News-i) (オリエンテーション)	第 10 週 (TBS News-i) 朝日の天声人語
第 2 週 (TBS News-i) 朝日の天声人語	第 11 週 (TBS News-i) 週刊こどもニュース
第 3 週 (TBS News-i) 週刊こどもニュース	第 12 週 (TBS News-i) 朝日の天声人語
第 4 週 (TBS News-i) 朝日の天声人語	第 13 週 (TBS News-i) 週刊こどもニュース
第 5 週 (TBS News-i) 週刊こどもニュース	第 14 週 (TBS News-i) 朝日の天声人語
第 6 週 (TBS News-i) 朝日の天声人語	第 15 週 (TBS News-i) 週刊こどもニュース
第 7 週 (TBS News-i) 週刊こどもニュース	第 16 週 (TBS News-i) 朝日の天声人語
第 8 週 (TBS News-i) 朝日の天声人語	第 17 週 (TBS News-i) 週刊こどもニュース
第 9 週 (中間テスト)	第 18 週 (期末テスト)
説明：	
1. 授課教師於學期前填寫本表，經課程委員會審核後，影印分送給教師所屬課程委員會召集人，授課班級所屬系、所及教務處課務組；並於開始上課時，將本內容向學生說明。	
2. 本表於 91. 4. 23 第四次校課程委員會討論通過。	

課程委員會召集人：



授課教師：

